

科目名 (科目番号)	神経系障害の 特性と対応 (061171)	教員名	桐山 希一 高尾 敏文 山本 竜也	学科等	理学療法	必須	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				オフィスアワー		火～木	8:00～9:00 A308	
授業概要	神経学および神経内科学の領域のなかで、とくに理学療法評価および治療を実施する際に必須の知識について学ぶ。脳血管障害、パーキンソン病や脊髄小脳変性症などの神経変性疾患、各種の神経・筋疾患が対象疾患となる。これらの疾患により引き起こされた運動障害を治療するには、生じている症状をよく診察してそれに応じた治療を行わなければならない。神経症状は、目で見えるそのままをただ観察すればよいのではない。背景となる病態や発症のメカニズムをしっかりと学んで、疾患およびその症状の正確な理解と評価そして治療ができるようになって欲しい。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	神経系障害を生じる疾患の特徴	到達目標:神経系障害の特徴を理解する。 学習目標:脳血管障害、神経変性疾患、神経・筋疾患を概観する。学習対象を把握すること。					
	2	脳血管障害(1)	到達目標:脳血管障害の分類、病態と症状およびその機序を理解する。 学習目標:脳血管障害の疫学、一過性脳虚血性発作、脳梗塞について学ぶ。					
	3	脳血管障害(2)	到達目標:脳血管障害の分類、病態と症状およびその機序を理解する。 学習目標:脳出血、くも膜下出血、その他の脳血管障害について学ぶ。					
	4	パーキンソン病およびその関連疾患	到達目標:錐体外路症状とくにパーキンソン病について理解する。 学習目標:身体運動に関わる錐体外路系とくに大脳基底核の機能、パーキンソン病の症候、診断、医学的治療、および関連疾患との相違について学ぶ。					
	5	脊髄小脳変性症および多系統萎縮症	到達目標:多系統萎縮症および脊髄小脳変性症について理解する。 学習目標:身体運動に関わる小脳の機能、脊髄小脳変性症およびその関連疾患の症候、診断、医学的治療について学ぶ。					
	6	運動ニューロン疾患	到達目標:運動ニューロン疾患とくに筋萎縮性側索硬化症について理解する。 学習目標:上位・下位運動ニューロンの症状と病態。筋萎縮性側索硬化症の病態、症候、医学的治療を学ぶ。					
	7	脱髄疾患	到達目標:脱髄疾患として、とくに多発性硬化症について理解する。 学習目標:寛解と増悪を繰り返す症状の経過と病態、多発性硬化症の病態、症候、医学的治療を学ぶ。					
	8	末梢神経障害	到達目標:末梢神経障害としてのギラン・バレー症候群を理解する。 到達目標:ギラン・バレー症候群の病態、症候、医学的治療を学ぶ。					
	9	脊髄疾患	到達目標:上行性・下行性とも脊髄レベルの神経路の障害とその症状の出現の仕方を理解する。 学習目標:脊髄障害による神経症候。脊髄疾患の原因、病態、症候、診断および治療を学ぶ。					
	10	脳腫瘍	到達目標:脳腫瘍について理解する。 学習目標:脳腫瘍の分類、病態、症候、診断および治療について学ぶ。					
	11	感染性疾患	到達目標:脳神経系の感染性疾患について理解する。 学習目標:髄膜炎、脳炎、プリオン病、脳膿瘍などの病態、症候、診断、治療について学ぶ。					
	12	外傷性疾患	到達目標:脳神経系の外傷性疾患について理解する。 学習目標:頭部外傷、脊髄損傷、末梢神経損傷の病態、症候、診断、治療について学ぶ。					
	13	機能的疾患	到達目標:機能的疾患を理解する。 学習目標:てんかん、頭痛およびめまいなどの原因、病態、症候、診断および治療について学ぶ。					
	14	認知症	到達目標:認知症について理解する。 学習目標:認知症の疫学、分類、病態。アルツハイマー病、血管性認知症その他の症候、診断、治療について学ぶ。					
	15	不随意運動	到達目標:疾患と不随意運動との関係について理解する。 学習目標:ジスキネジア、ジストニア、バリスム、振戦など、さまざまな不随意運動について学ぶ。					
成績評価の方法・基準	期末試験により評価(100%)する。							
教科書	①神経障害理学療法学Ⅰ ②神経障害理学療法学Ⅱ ③病気がみえる〈vol.7〉脳・神経		鈴木俊明, 中山恭秀(編集) 中山恭秀, 鈴木俊明(編集) 医療情報科学研究所 編集			メジカルビュー社 メジカルビュー社 メディックメディア		
参考図書	解剖学や生理学の教科書							
教員からのメッセージ	神経系障害の理解は基礎となる知識からの積み重ねです。分からない事項はそのままにしておかず、分からないことがあったらすぐに調べたり質問して解決する習慣をつけてください。学習の仕方が分からない場合も相談してください。							